

住民説明会(7月18日)におけるご説明概要

【JCO】

1. 将来計画について

弊社は、1999年の臨界事故後、主に原子力施設の維持管理と保管廃棄物(放射性固体廃棄物)の点検・整備に取り組んでおります。

放射性固体廃棄物の処理処分に関しましては、国レベルの検討が徐々に進んでいます。このため、2012年度に弊社が管理している原子力施設の撤去、整備に関する基本計画(将来事業計画)を策定し、順次進めて参りました。

今後も同計画に沿った活動を行なって参ります。

2. 2025年度年間事業計画について

弊社の将来事業計画を踏まえ、本年度は主に以下の事業を計画しております。

① 保管廃棄物の管理、施設の保守管理

例年通り、保管廃棄物の管理、施設の保守管理を、安全最優先で行ないます。

② 第1管理棟、第2管理棟、第3管理棟の不要設備撤去工事

設備・タンク・配管等を撤去しドラム缶に密充填する工事を継続します。

③ 第1管理棟、第2管理棟、第3管理棟の管理区域解除工事

並行して行なっている管理区域解除のための工事を継続します。

④ 第5管理棟の不要設備撤去工事、管理区域解除工事

不要設備撤去工事、管理区域解除工事に着手します。

⑤ ウラン回収処理海外委託(搬出・輸送)

2016年より、ウラン回収処理が可能であることが判明したウランを含む残渣(ウラン残渣)及びウランが付着している金属(ウラン付着金属)について、海外でウラン回収処理を行なっております。本年はこのウラン回収処理のため、2回の搬出・輸送を計画しております。

【住友金属鉱山】

東海事務所の現状について(ご参考)

ウランを用いて試験研究を行っていた試験棟は役目を終え、2012年から原子力施設を廃止するための工事を行い、2019年10月には国により廃止措置の完了が確認されました。その後、2023年4月までに試験棟などの建物を解体撤去しました。

現在は、一般建屋の維持管理のほかJCOに保管管理をお願いしている放射性廃棄物ドラム缶約5,000本の処理処分などについて検討を進めています。

以上